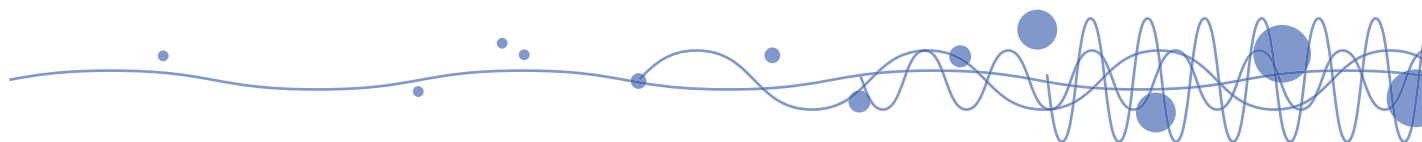


睡眠計測で予兆をチェック!

メンタル不調に なってからでは、 遅いのです。



わずか125gの超小型脳波計登場!

医療機器認証番号225ADBZX00020000

睡眠科学を手のひらに

スリープウェル株式会社

ストレスの予兆をもっと正確に

メンタル不調者が一人出ると、1億円もの売り上げが余計に必要？

企業でメンタル疾患の休職者が1名出ると、その直接的な損失額は422万円(内閣府調査)とされています。例えば、メンタル疾患の従業員一人が、6か月の病気で休職すると、その損失補てんには1億円の売り上げを余計に上げる必要がある、という試算もあります。実際には、周囲への影響であったり、プロ

ジェクトの中止など、その何倍、あるいは10倍以上もの損失になることも考えられます。仮に、従業員数5,000人の企業が、全員に睡眠検査を実施したとしても、1億円のコストはかかりません。メンタル疾患予備軍を発見できれば、膨大な損失を未然に食い止めることも可能なのです。

アンケートだけでは、メンタルの兆候を見逃すかも。

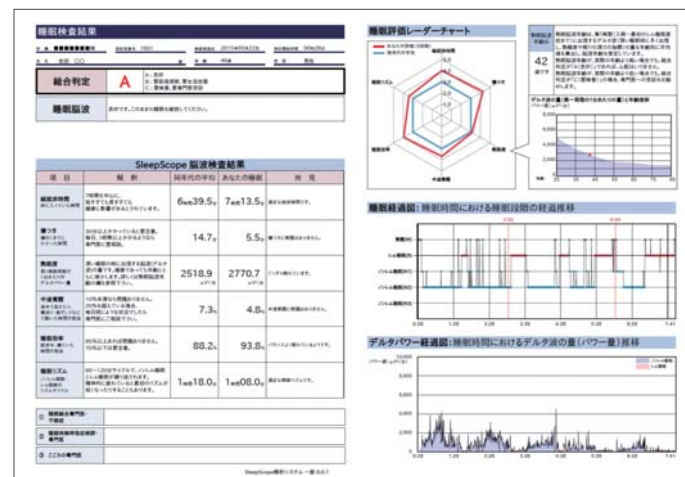
2015年12月より、労働安全衛生法の一部が改正され、ストレスチェックが義務化されました。このストレスチェックは、アンケートが中心となっています。ストレスと不眠は相関関係が高いことが実証されており、秋田大学医学部精神科の清水徹男教授によると、うつなどの精

神疾患患者の9割以上に初期症状として不眠がある、という報告もあります。睡眠計測によりメンタル疾患の予兆を把握できる可能性は少なくありません。また、治療後の復帰のタイミングを判定するうえでも、正確な睡眠計測は有効な手段となり得ます。

医療機器の脳波計で、健康な組織を。

睡眠は、脳の活動(脳波)を計ることで科学的・定量的に評価できます。現在、さまざまな睡眠を計る機器が世の中には存在します。しかし、その多くは医療機器に認証されていません。また、体の動きから睡眠を間接的に予測するなど、不眠を正確に把握する目的には適さない製品がほとんどです。一方、医療で用いられている睡眠の精密検査は、不眠を科学的・定量的に計測できるとしても、それには大がかりな装置が必要で、

ストレスチェックという観点から見れば、現実的とは言えません。私たちの仕組み、医療機器として認証され、不眠を科学的・定量的に、そして「簡単」に計測できるシステムです。さらに計測だけではなく、不眠状態の把握により必要に応じて、アドバイスやカウンセリングを専門機関から提供することも可能です。私たちスリープウェルは健康な組織づくりに貢献できると確信しています。



超小型! 誰でも簡単に計測できる

従来は、睡眠を正確にはかることは、現実的ではなかった。

メンタル疾患に関係すると言われる睡眠ですが、正確に計測するのは現実的ではありませんでした。なぜなら、病院で大掛かりな装置を使い、一晩入院して、脳波・眼球・筋電・呼吸・いびきなど多数のセンサーを装着して多くの種類の生体信号を計測する、終夜睡眠ポリグラフ検査(以下:PSG)を受診する必要があったからです。

01 世界最小クラスの脳波計。しかも精度は大型脳波計とほぼ同等。

私たちスリープウェルは、世界でも最小クラス、手のひらサイズの脳波計「スリープスコープ」の開発に成功しました。本格的なPSGと比べても、遜色のない正確な解析結果が得られています。28,000例以上の一般人睡眠脳波データ、及び20種類以上の疾患患者のデータを保有しているため、性別・年代ごとの違いも反映された客観的指標によって、より正確な予兆発見に役立ちます。

02 子どもからお年寄りまで、誰でも簡単に計測。

スリープスコープは何よりも、操作性に優れている点が特長です。子どもから高齢者まで、装着も測定も被験者ご自身で簡単に操作できます。特別な講習やトレーニングの必要もありません。自宅に持ち帰り、日常の睡眠状態を誰もが簡単に計測できます。このシステムにより、睡眠に関する判定結果を個人に適切に伝えることが可能となりました。

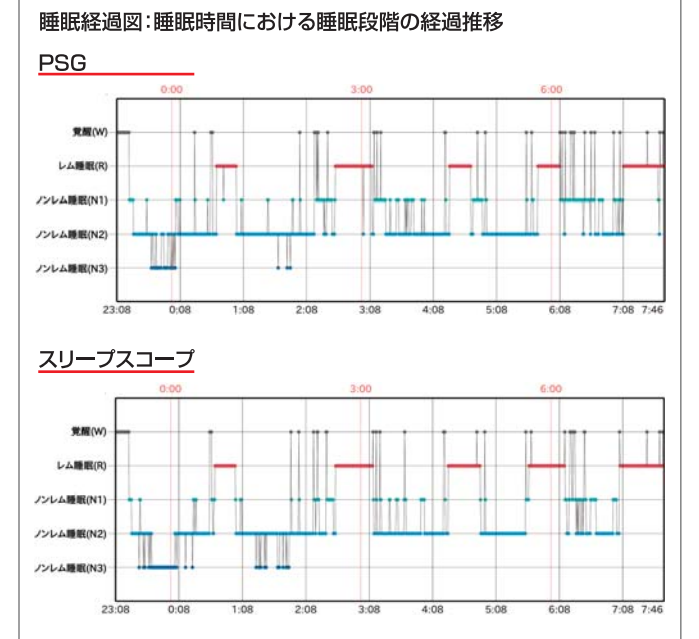
03 関係機関から正式に認証された医療機器です。

スリープスコープは医療機器として認証された唯一の電池駆動の小型1ch脳波計です(認証番号:225ADBZX00020000)。2015年には、睡眠脳波解析プログラムも医療機器認証を得ました(認証番号:227ADBZX00087000)。

※2016年2月現在

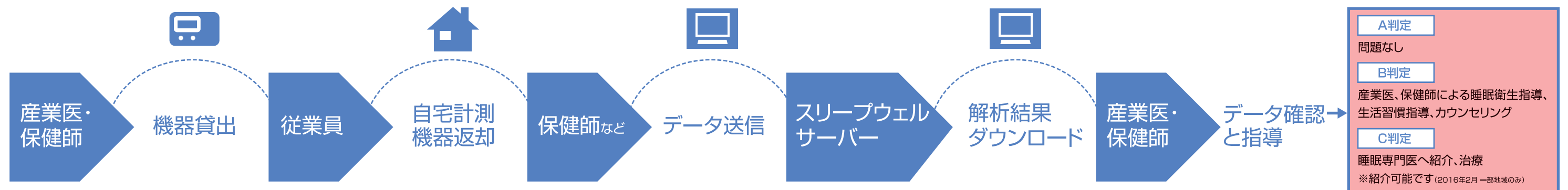


▲PSGは多くの生体情報を測定できるものの、一泊入院が必要。一方で、スリープスコープは手のひらサイズ。誰でも簡単に操作できて、自宅でも計測が可能。手軽に睡眠を計測できます。



▲PSGとスリープスコープの測定結果の比較。ほとんどの測定で、PSGとほぼ同等の精度を実現しています。

計測から診断までの流れ



数々のマスコミに取り上げられました

〈新聞・雑誌〉

日経新聞、毎日新聞、産経新聞、日刊工業新聞、週刊新潮、東洋経済、日経BPなど、全国紙、雑誌、業界新聞に幅広く取り上げられています。

〈テレビ〉

おはよう日本(NHK)、ワールドビジネスサテライト(TV東京)、健康カプセル!ゲンキの時間(TBS)、ニュース深堀り(BS-TBS)、夢の扉(TBS)、すまたん(読売テレビ)など、数々の番組で取り上げられました。

SLEEP SCOPE 原寸大

手のひらサイズの高性能睡眠脳波計



SLEEP SCOPE 利用実績

宇宙航空研究開発機構(JAXA): 国際宇宙ステーションにおける宇宙医学実験(古川飛行士2011年、星出飛行士2012年)

国立極地研究所: 第50・51次南極越冬隊(JAXAとの共同研究)、第53次南極越冬隊

大学: 医学部、薬学部、歯学部、看護学部、情報工学部、人間科学部、生活環境学部、体育学部、医療保健学部

医療機関: 心療内科、精神科、耳鼻咽喉科、内科、小児科、脳外科、歯科、皮膚科、泌尿器科、睡眠クリニック、人間ドック、企業の健康診断

医薬品開発: 睡眠薬、向精神薬、鎮痛薬、痒み止め、糖尿病薬など

快眠関連: 食品、飲料、薬品、化粧品、香料、家庭用品、住宅設備(空調、照明など)、寝具、家電、医療機器、ホテル、温泉・入浴、ミストサウナ、TV番組制作など

〈医療機器・業許可〉

- 第二種医療機器製造販売業許可番号 27B2X00264
- 医療機器製造業許可番号 27BZ200229
- 高度管理医療機器等 販売業賃貸業許可番号 N06234号

〈医療機器・薬事認証〉

- スリープスコープ(脳波計)
医療機器認証番号: 225ADBZX00020000
- スリープスコープ睡眠脳波解析プログラム(SEAS-G)
医療機器認証番号: 227ADBZX00087000

睡眠科学を手のひらに

スリープウェル株式会社

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-20-9 三栄ビル7階
TEL.06(6450)8787 FAX.06(6450)8784 <http://sleepwell.co.jp>

お問い合わせ先: info@sleepwell.co.jp

